

3 コメ

(1) 国際的なコメ需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

- ・タイ等で上方修正も、ミャンマー等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

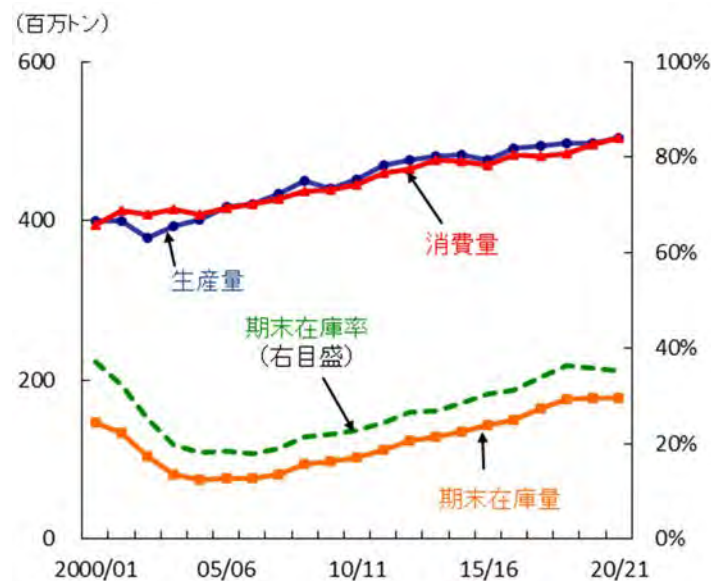
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

- ・タイで上方修正も、ミャンマー等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

- ・タイで上方修正も、ミャンマーで下方修正され、前月から下方修正された。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↓



資料：USDA「PS&D」（2021.4.9）をもとに農林水産省にて作成

◎世界のコメ需給

（単位：百万精米トン）

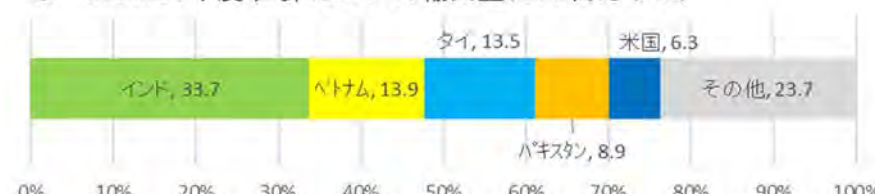
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	497.3	497.7	504.2	▲ 0.2	1.3
消 費 量	484.6	496.3	504.3	▲ 0.4	1.6
輸 出 量	43.9	43.0	46.0	▲ 0.3	6.9
輸 入 量	44.0	42.3	43.7	▲ 0.3	3.1
期末在庫量	176.5	177.9	177.7	▲ 0.1	▲ 0.1
期末在庫率	36.4%	35.8%	35.2%	0.0	▲ 0.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（9 April 2021）

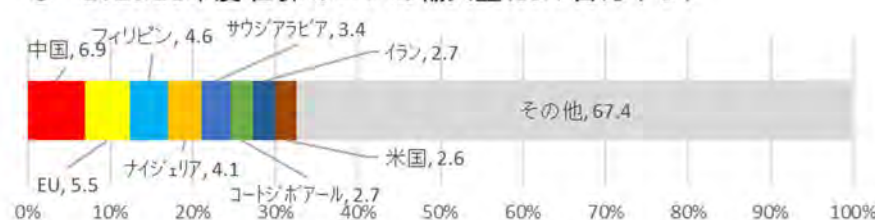
○ 2020/21年度世界のコメの生産量（504.2百万トン）（単位：％）



○ 2020/21年度世界のコメの輸出量（46.0百万トン）



○ 2020/21年度世界のコメの輸入量（43.7百万トン）



（２）国別のコメの需給動向

< 米国 >

【生産動向】米国農務省（USDA）によれば、2020/21 年度の実産量は、前月予測から変更はなく、対前年度比 23.0%増の史上第 3 位となる 7.2 百万トンの見込み。このうち、中・短粒種の生産量は全体の約 25%を占める。

なお、USDA が 3 月 31 日に公表した作付意向調査では 2021/22 年度のコメについては、長粒種、中粒種、短粒種とも前年度より 5 %から 11%減少し、合計で対前年度比 11%減の 1.1 百万ヘクタール。アーカンソー州やルイジアナ州では収益性の良いとうもろこしや大豆に作付けがシフトし、カリフォルニア州では冬季の降雪不足等により灌漑用水が不足することが要因。

同「Crop Progress」(2021.4.19)によれば、コメの作付けは米国南部で進んでおり、主要生産 6 州の 4 月 18 日現在の作付進捗率は 33%で前年度同期（29%）より 4 ポイント進展している。一方で、発芽進捗率は 16%と前年度同期（18%）より 2 ポイント遅れている。なお、カリフォルニア州ではまだコメの作付けは始まっていない。

【貿易情報・その他】USDA によれば、消費量は前月予測から 0.1 百万トン下方修正され、対前年度比 9.4%増の 5.0 百万トンの見込み。輸出量は 2 月の輸出ペースが減速していることにより前月予測から 0.1 百万トン下方修正され、対前年度比 3.3%減の 2.9 百万トンの見込み。輸入量は、前月予測からわずかに下方修正され、対前年度比 5.0%減の 1.1 百万トンの見込み。

同「Rice Outlook」(2021.4.13)によれば、4 月 6 日時点の地中海向けカリフォルニア米（1 等、碎米 4 %混入）の価格は前月より 45 ドル上昇し 945 ドル/トン。これは冬期の降雨や降雪が少なかったことにより水不足が懸念されていることに起因する。一方、長粒種については 2020/21 年が豊作であったものの、イラク向け長粒種（2 等、碎米 4 %混入）は 625 ドル/トン、中南米及びメキシコ向け精米は 550 ドル/トンと昨年 8 月初旬から横ばいとなっている。

コメー米国

主に中・短粒はカリフォルニア、長粒はミシシッピ川沿いで栽培
カリフォルニア州の全米のコメ生産に占める生産シェアは約 2 割

（単位：百万精米トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	7.1	5.9	7.2	-	23.0
消 費 量	4.6	4.6	5.0	▲ 0.1	9.4
輸 出 量	3.0	3.0	2.9	▲ 0.1	▲ 3.3
輸 入 量	0.9	1.2	1.1	▲ 0.0	▲ 5.0
期末在庫量	1.4	0.9	1.4	0.1	49.5
期末在庫率	18.8%	12.0%	17.2%	1.6	5.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.18	1.00	1.21	-	21.0
単収(もみt/ha)	8.62	8.38	8.54	-	1.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)

<インド>

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は前月予測から変更はなく、対前年度1.8%増の121.0百万トンの見込み。

インド東部・南部でのラビ米の1月29日時点の作付済み面積は、3.5百万ヘクタールと前年同期比16.7%増となっている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の消費量は前月予測から変更はなく、対前年度比0.5%増の106.5百万トンの見込み。

USDAによれば、2020/21年度の輸出量は前月予測から変更はなく、対前年度比24.1%増の史上最高の15.5百万トンとなる見込み。インド商工省によれば、2020年4月から2021年1月の輸出量累計は13.2百万トンで前年同期（7.3百万トン）と比べ1.8倍。輸出量のうち3.8百万トンが高級品質のバスマティ米で、9.5百万トンが非バスマティ米である。輸出量は、前年度対比でバスマティ米、非バスマティ米とも増加しているが、非バスマティ米の伸びが大きい。とうもろこしの価格上昇から、飼料向けのコメの輸入需要が増加していることも背景にあるとみられる。

同「Rice Outlook」（2021.4.13）によれば、インド産米（碎米5%混入）の4月6日現在の価格は先月よりも10ドルほど高く410ドル/トンになっているが、アジアの他の輸出国よりも競争力が高い。

コメーインド

雨季をカリフ、乾季をラビと呼ぶ。北部はカリフ・ラビ（小麦）の二毛作、南部はカリフ・ラビの二期作。主にインディカを栽培

（単位：百万精米トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	116.5	118.9	121.0 (120.3)	-	1.8	
消 費 量	99.2	106.0	106.5 (104.9)	-	0.5	
輸 出 量	10.4	12.5	15.5 (15.2)	-	24.1	
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	-	
期末在庫量	29.5	29.9	28.9 (28.2)	-	▲ 3.3	
期末在庫率	26.9%	25.2%	23.7% (23.5%)	-	▲ 1.5	

(参考)

収穫面積(百万ha)	44.16	43.66	44.00 (44.35)	-	0.8
単収(もみt/ha)	3.96	4.08	4.13 (2.71)	-	1.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)

IGC「Grain Market Report (25 March 2021)」(単収は精米t/ha)

< 中国 >

【生産動向】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測から変更はなく、対前年度比1.1%増の148.3百万トンの見込み。

農業農村部の調査によれば、3月末現在、2021/22年産全体の春播種の進捗は6.5%で、前年同期並み。そのうち、二期作早稲の育苗率と移植率は54.2%と12.8%で、一期作稲の育苗率は13.9%。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測から変更はなく、対前年度比2.6%増の149.0百万トンの見込み。

USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から変更はなく、対前年度比7.7%減の2.4百万トンの見込み。

2020/21年度の輸入量は、前月予測から変更はなく、対前年度比15.4%増の3.0百万トンの見込み。

中国農業農村部の「農産品供需形勢分析月報」（2月）によれば、2月の早期インディカ、晩期インディカ、ジャポニカの卸売価格（精米）は、それぞれ3,820 元/トン（1月3,820 元/トン）、4,260 元/トン（同4,220 元/トン）、4,400 元/トン（同4,400 元/トン）。

春節の時期で精米工場の稼働率が低下し、流通在庫は充足しており、市場での売買は低調となっていることから精米価格に大きな変動はない。

コメー中国

北部で一期作、南部で二期作。ジャポニカ(粳)米は東北地区、江蘇省等で栽培、生産シェアは3割程度

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	148.5	146.7	148.3 (148.3)	-	1.1	
消費量	142.9	145.2	149.0 (148.5)	-	2.6	
輸出量	2.8	2.6	2.4 (2.5)	-	▲ 7.7	
輸入量	3.2	2.6	3.0 (2.7)	-	15.4	
期末在庫量	115.0	116.5	116.4 (112.5)	-	▲ 0.1	
期末在庫率	78.9%	78.8%	76.9% (74.5%)	-	▲ 1.9	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	30.19	29.69	30.08 (30.15)	-	1.3	
単収(もみt/ha)	7.03	7.06	7.04 (4.92)	-	▲ 0.3	

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)
IGC「Grain Market Report (25 March 2021)」(単収は精米t/ha)

< タイ >

【生育・生産動向】

USDAによれば、2019/20年度(2020年1月～同年12月)の生産量は、前月からの変更はなく、17.7百万トンと干ばつの影響で2018/19年度を12.3%下回る見込み。

2020/21年度(2021年1月～同年12月)の生産量は、乾季米向けの灌漑水の貯水量が上がったことや価格が上がって作付け意欲が上昇したことなどにより、前月予測から0.2百万トン上方修正されて、対前年度比6.6%増の18.8百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2019/20年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、5.7百万トンの見込み。

タイ米輸出協会によれば、2021年1月から2月までの輸出量は、前年同期比12.6%減少の82.9万トン。輸出先国は、米国(11.1万トン)、南アフリカ(10.1万トン)、中国(7.2万トン)の順となっている。

USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、生産量の増加予測に加えインドネシア向けの輸出が増加すると見込まれることから前月予測から0.1百万トン上方修正され、対年度比8.6%増の6.2百万トンの見込みであるが、ベトナムの輸出量(6.4百万トン)を下回り、世界第3位のコメ輸出国となる見通し。

同「Rice Outlook」(2021.4.13)によれば、4月5日現在のタイ産米(長粒、2等丸米)の輸出価格が前月より31ドル下落し490ドル/トンとなり、ベトナム産米(長粒、碎米5%混入)よりも低価格になっている。乾季作が収穫され市場に出回り始めたことや、パーツ安により価格が下落した。

USDAによれば、今後、近隣諸国のASFの影響からの回復によりとうもろこしより安価な碎米の飼料用需要が増加することから、2022年以降、輸出が徐々に回復するとみられている。

コメ・タイ

夏期の雨季作と冬期の乾季作で行われる。主にインディカを栽培

(単位: 百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はIGC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	20.3	17.7	18.8 (18.7)	0.2	6.6
消 費 量	11.8	12.3	12.5 (11.7)	0.1	1.6
輸 出 量	7.6	5.7	6.2 (7.4)	0.1	8.6
輸 入 量	0.3	0.3	0.2 (0.3)	-	▲ 20.0
期末在庫量	4.1	4.0	4.3 (5.2)	0.0	8.3
期末在庫率	21.1%	22.1%	23.0% (27.3%)	▲ 0.1	0.9

(参考)

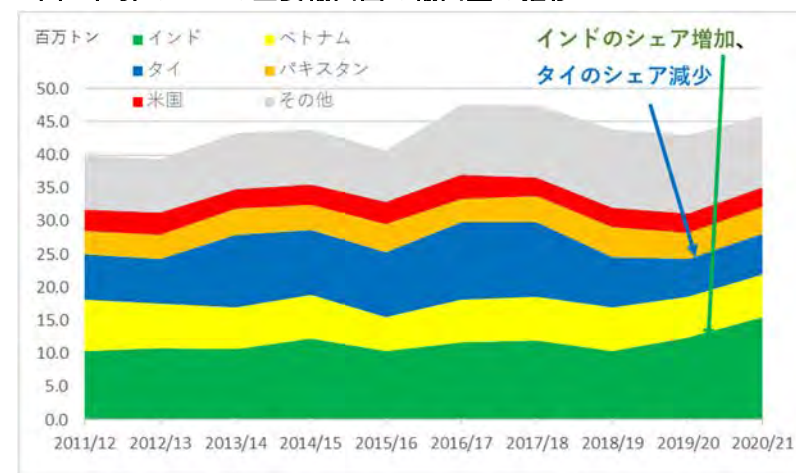
収穫面積(百万ha)	10.83	9.89	10.40 (10.30)	0.10	5.2
単収(もみt/ha)	2.85	2.70	2.74 (1.82)	-	1.5

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、

「World Agricultural Production」(9 April 2021)

IGC「Grain Market Report (25 March 2021)」(単収は精米t/ha)

図: 世界のコメの主要輸出国の輸出量の推移



出典: USDA「FASAD」(2021.4)をもとに農林水産省加工

<ベトナム>

【生育・生産動向】USDAによれば、2020/21年度(2021年1月～2021年12月)の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度と変わらず27.1百万トンの見込み。

ベトナム統計総局は4月中旬現在で、冬春作の作付面積は全体で300万ヘクタール(前年同期比0.6%減少)、そのうち北部地域では110万ヘクタール(前年同期比1.8%減少)、南部地域では190万ヘクタール(前年同期比0.4%減少)に作付けられたとしている。現在、冬春作の収穫が行われている。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2019/20年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく6.2百万トンの見込み。また、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、対前年度比3.7%増の6.4百万トンの見込み。

ベトナム税関総局によれば、2021年1月から3月の間のコメの輸出量は119.3万トン。

USDA「Rice Outlook」(2021.4.13)によれば、ベトナム産米(碎米5%混入)の4月6日現在の価格は春物が市場に出回ってきたことにより続落し、4月の長粒種の輸出価格は、前月より20ドル安い495ドル/トンとなったが、タイ産米よりも高値になっている。

コメベトナム

北部で二期作、南部で二期作、三期作。主に長粒種、一部で短粒種も栽培

(単位：百万精米トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、()はIGC		前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	27.3	27.1	27.1	(28.2)	-	-
消費量	21.2	21.3	21.3	(22.6)	-	-
輸出量	6.6	6.2	6.4	(6.4)	-	3.7
輸入量	0.5	0.4	0.5	(0.6)	-	25.0
期末在庫量	1.1	1.2	1.1	(3.0)	-	▲ 4.2
期末在庫率	4.0%	4.3%	4.1%	(10.4%)	-	▲ 0.2

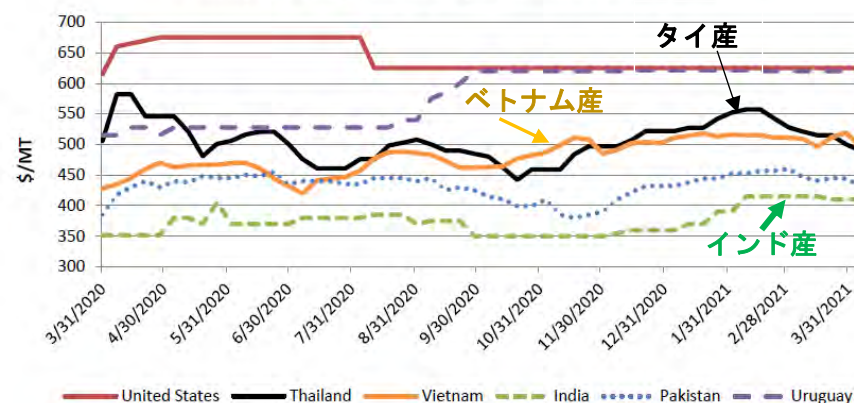
(参考)

収穫面積(百万ha)	7.54	7.38	7.35	(7.47)	▲ 0.04	▲ 0.4
単収(もみt/ha)	5.80	5.88	5.90	(3.78)	0.03	0.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)
IGC「Grain Market Report (25 March 2021)」(単収は精米t/ha)

図：長粒種のFOB価格の推移

タイ産に続きベトナム産も価格は下落。



資料：USDA「Grain: Markets and Trade」(2021.4.9)

II 油糧種子 大豆

(1) 国際的な大豆需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し> 2020/21 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・パラグアイ等で下方修正も、ブラジル等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

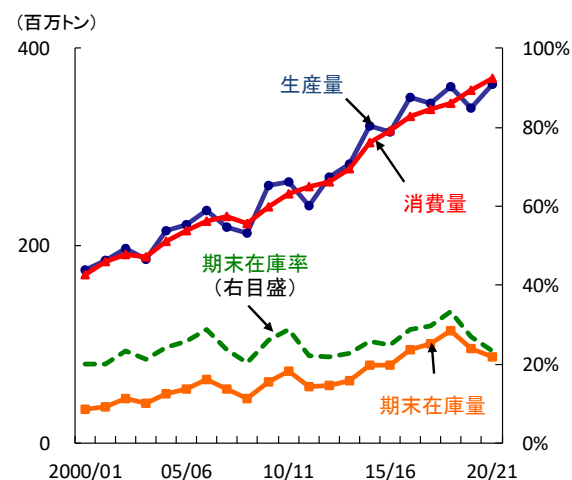
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・中国等で下方修正され、前月から下方修正された。史上最高の見込み。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・パラグアイ等で下方修正も、ブラジル等で上方修正され、前月から上方修正された。史上最高の見込み。

期末在庫量 前年度比 ↓ 前月比 ↑



資料：USDA「PS&D」（2021.4.9）をもとに農林水産省で作成

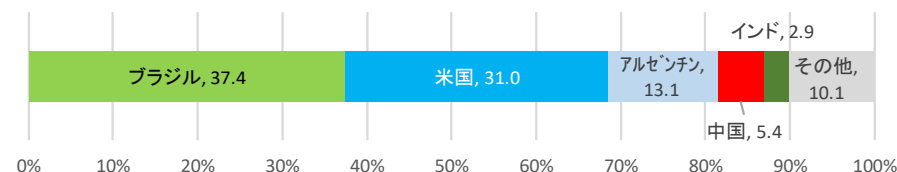
◎世界の大豆需給

（単位：百万トン）

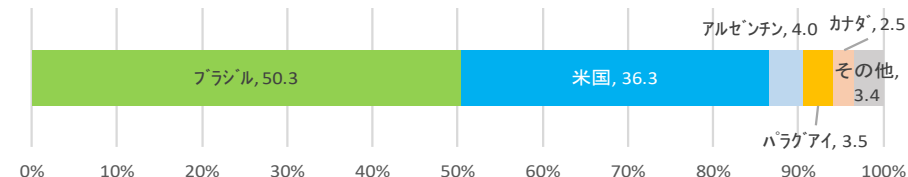
年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	361.0	339.0	363.2	1.4	7.1
消 費 量	344.3	357.0	369.6	▲ 1.8	3.5
うち搾油用	298.5	311.5	322.5	▲ 1.1	3.5
輸 出 量	148.8	165.1	170.9	1.2	3.6
輸 入 量	145.9	165.0	167.8	0.9	1.7
期末在庫量	114.5	96.4	86.9	3.1	▲ 9.9
期末在庫率	33.3%	27.0%	23.5%	1.0	▲ 3.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（9 April 2021）

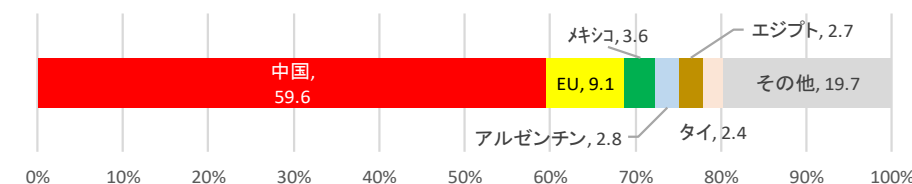
○ 2020/21 年度の世界の大豆の生産量 (363.2 百万トン) (単位：%)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸出量 (170.9 百万トン)



○ 2020/21 年度の世界の大豆の輸入量 (167.8 百万トン)



(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】3月末に米国農務省（USDA）から発表された作付意向面積調査によれば、2021/22年度の作付面積は35.5百万ヘクタールと前年度に比べ5.4%増の見込み。市場の事前予想を下回った。4月18日現在で作付け進捗率は3%と、前年度同期（2%）及び過去5年平均（2%）より進んでいる。

【需要動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測から搾油用需要、種子用、その他需要合計で0.8百万トン下方修正され、前年度より1.1%増の62.5百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】2020/21年度の輸出量は、前月予測から0.8百万トン上方修正され、前年度より35.5%増の62.1百万トンと史上最高の見込み。2020/21年度の9月から2月までの輸出ペースは史上最高の5.4百万トンで、中国向け輸出は3.5百万トンとなっている。2月の輸出量の457万トンも2015/16年度以来の最高値となっている。

なお、輸出検証高（2021年1月7日～4月1日）は、15.3百万トンであり、内訳は中国（7.3百万トン）、メキシコ（1.3百万トン）、エジプト（1.1百万トン）、インドネシア（0.6百万トン）の順。

2020/21年度の期末在庫量は、前年度より77.2%減の3.3百万トン。期末在庫率は2.6%で2013/14年度以来の低水準となっている。

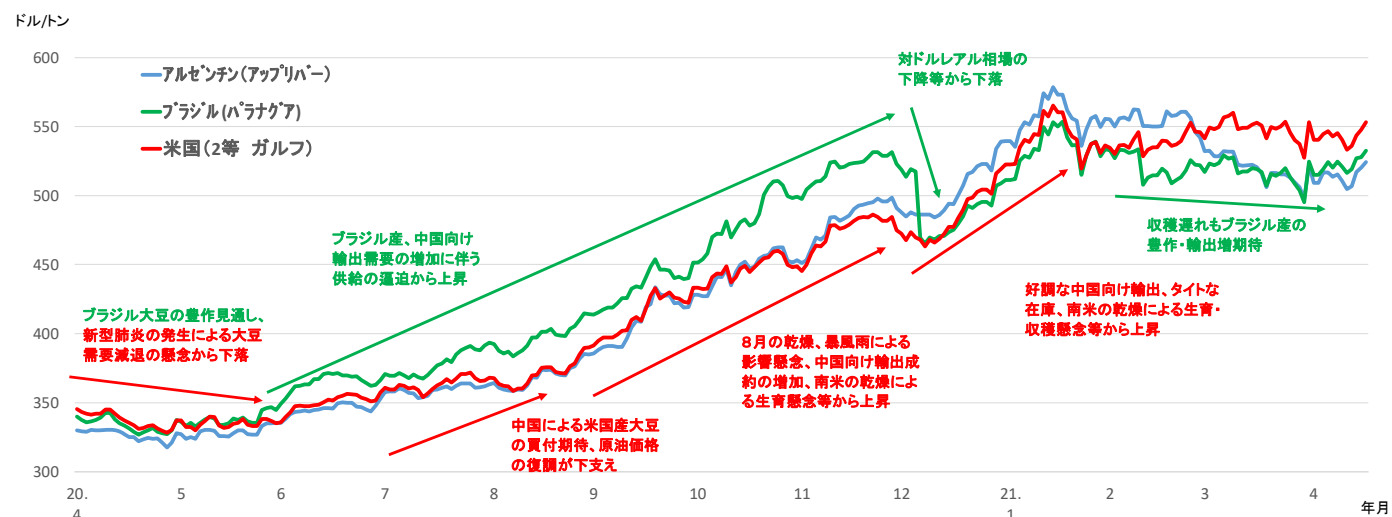
大豆－米国

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	120.5	96.7	112.6	-	16.4
消費量	60.4	61.8	62.5	▲ 0.8	1.1
うち搾油用	56.9	58.9	59.6	▲ 0.3	1.2
輸出量	47.7	45.8	62.1	0.8	35.5
輸入量	0.4	0.4	1.0	-	126.2
期末在庫量	24.7	14.3	3.3	-	▲ 77.2
期末在庫率	22.9%	13.3%	2.6%	0.0	▲ 10.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	35.45	30.33	33.31	-	9.8
単収(t/ha)	3.40	3.19	3.38	-	6.0

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)

図：米国、ブラジル、アルゼンチン大豆輸出価格（FOB）の推移



資料：IGCのデータをもとに農林水産省にて作成

< ブラジル >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、リオグランデドスル州や北東部の州で最近の降雨により生育が改善したこと等を反映し、前月予測から2.0百万トン上方修正され、前年度より5.8%増の136.0百万トンとなり、史上最高の見込み。

1月末から収穫が始まったが、雨がちな天候で収穫作業が遅れた。3月は乾燥傾向が続いたことで収穫が進展し、主産地の中西部マトグロッソ州の収穫は3月末でほぼ終了。南部のパラナ州では4月12日現在で収穫率は98%。

なお、ブラジル食料供給公社(CONAB)月例報告(2021.4.8)によれば、生産量は、収穫結果を受けて単収が上方修正されたことから前月予測から0.4百万トン上方修正され、前年度より8.6%増の135.5百万トンで史上最高の見込み。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、生産量の上方修正に伴い、搾油用消費量が前月予測から0.3百万トン上方修正され、前年度より1.5%増の49.4百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、生産量の上方修正と世界的な需要増から前月予測から1.0百万トン上方修正されたものの、在庫を切り崩して史上最大の輸出となった前年度より6.7%減の86.0百万トンの見込み。

ブラジル貿易統計によれば、2021年3月の輸出量は13.5百万トンで過去最高だった前年3月の10.9百万トンを更新した。2021年1～3月の輸出量は16.2百万トンで、前年同期に比べ5%減となっている。内訳は、1位が中国で11.6百万トン、2位がスペインで0.7百万トンとなっている。

ブラジルのクロープカレンダー(中部から南部)

2021年2月以降大豆の収穫が行われ、その後、一部圃場で冬とうもろこしを栽培。

2020/21年度	2020年												2021年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
夏とうもろこし	リオグランデドスル州等												作付 4.3(百万ha)								
冬とうもろこし	作付面積夏冬計 19.7百万ha												作付 15.4(百万ha)								
大豆	マトグロッソ州、パラナ州等												作付 38.5(百万ha)								
													収穫 24.5(百万t)								
													収穫 84.5(百万t)								
													大豆収穫後の一部圃場で冬とうもろこしを栽培								

資料：CONAB穀物レポート(2021.4.8)

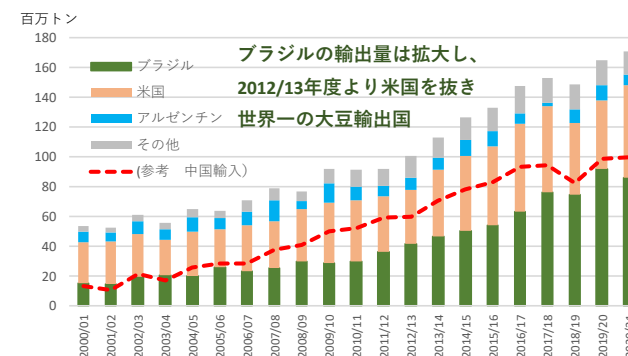
大豆ーブラジル

(単位：百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	119.7	128.5	136.0 (131.0)	2.0	5.8
消 費 量	45.2	48.7	49.4 (…)	0.3	1.5
うち搾油用	42.5	46.0	46.8 (…)	0.3	1.6
輸 出 量	74.9	92.1	86.0 (…)	1.0	▲ 6.7
輸 入 量	0.1	0.6	0.6 (…)	0.2	-
期末在庫量	32.5	20.7	21.9 (…)	0.9	5.5
期末在庫率	27.0%	14.7%	16.2% (…)	0.5	1.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	35.90	36.90	38.60 (40.20)	-	4.6
単収(t/ha)	3.33	3.48	3.52 (3.26)	0.05	1.1

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

図：世界の大豆輸出国の輸出量の推移



資料：USDA「PS&D」(2021.4.9)のデータをもとに農林水産省にて作成

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より2.7%減の47.5百万トンの見込み。

ブエノスアイレス穀物取引所（2021.4.22）によれば、最近の降雨が収穫作業の進捗を阻害し、収穫率は19%で過去5か年平均に比べ25ポイント遅れている。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測から搾油用消費量が0.3百万トン上方修正され、前年度より4.0%増の47.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測から0.2百万トン下方修正され、中国向け輸出における米国、ブラジルとの競争の激化から、前年度より31.5%減の6.9百万トンの見込み。

アルゼンチン国家統計局によれば、2021年1～2月の輸出量は1.9万トンで、収穫遅れにより輸出可能な大豆がないため、前年同期より89.5%減。内訳は、1位がチリ1.3万トン、2位がブラジル0.2万トンとなっている。

アルゼンチンは、バイオディーゼル用大豆の搾油を行うため、大豆輸出量よりも、搾油後に発生する大豆加工品の輸出が多く、大豆粕については、世界第1位の輸出国であるが、最近是国内需要の伸びに伴い、輸出量は伸び悩んでいる。

アルゼンチン政府は、財政赤字の補填等のため、2019年12月から2020年3月にかけて、大豆、大豆油、大豆粕の輸出税を約25%から最大33%へ引き上げ、現在も継続中。

大豆ーアルゼンチン

(単位：百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	55.3	48.8	47.5 (44.0)	-	▲ 2.7
消費量	47.5	45.9	47.7 (…)	0.3	4.0
うち搾油用	40.6	38.8	40.5 (…)	0.3	4.5
輸出量	9.1	10.0	6.9 (…)	▲ 0.2	▲ 31.5
輸入量	6.4	4.9	4.7 (…)	-	▲ 3.7
期末在庫量	28.9	26.7	24.4 (…)	▲ 0.1	▲ 8.8
期末在庫率	51.1%	47.8%	44.6% (…)	▲ 0.4	▲ 3.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.60	16.70	16.70 (16.25)	-	-
単収(t/ha)	3.33	2.92	2.84 (2.71)	-	▲ 2.7

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

「World Agricultural Production」(9 April 2021)

OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

写真：北部サンタフェ州の大豆圃場の収穫風景

(3月30日撮影)

前年10月下旬～11月上旬に作付けされた大豆、作柄は良好。



< 中国 >

【生産・生育状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、前年度より8.3%増の19.6百万トンで史上最高の見込み。なお、2021/22年度の大豆の播種は4月下旬から主要産地で開始される。

【需給動向】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、中国で新たなアフリカ豚熱の報告と大豆粕需要が減少する中、搾油マージンが悪化し、2月の旧正月以降の搾油用大豆需要が予想より減少していることから前月予測から2.0百万トン下方修正された。しかし、近年のアフリカ豚熱の影響から養豚産業が回復し、養豚数の増加により大豆粕需要が前年度より高まることから、前年度より5.0%増の114.7百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸入量は、前月予測からの変更はなく、養豚産業の大豆粕需要の高まりにより前年度より1.5%増の100.0百万トンで史上最高の見込み。

中国財政部は、2020年2月14日に、米中通商協議一次合意に伴い、米国産大豆の追加関税30%のうち、2019年9月追加分の5%分を半減させ、追加関税を27.5%まで引き下げた。

中国の貿易統計によれば、2021年1～2月の輸入量は13.4百万トンと、前年同期比で0.8%減。内訳は、米国産12.0百万トン（89%）、ブラジル産1.0百万トン（8%）。ブラジル産大豆の収穫・出荷遅れにより、米国産の輸入が大半を占めた。

農業農村部「農産品供需形勢分析月報2月号」によると、2月、春節と元宵節が重なり、国内大豆市場は閑散期に入り、取引は活発ではなかった。供給側から見ると、新穀大豆は上場後価格が上昇を続けており、農家は今後の価格の上昇を見込んで、売却に消極的。需要側から見ると、リスクを回避するため、貿易商は主に在庫を販売し、市場で大量に購入せず、様子見感が強かった。2月の国内価格（山東省の国産大豆工場渡し価格）は引き続き上昇し、6,100元／トンで高水準である。一方、2月の国際価格（山東省の輸入大豆価格）は4,280元／トンと前月から横ばいで、内外価格差が拡大した。

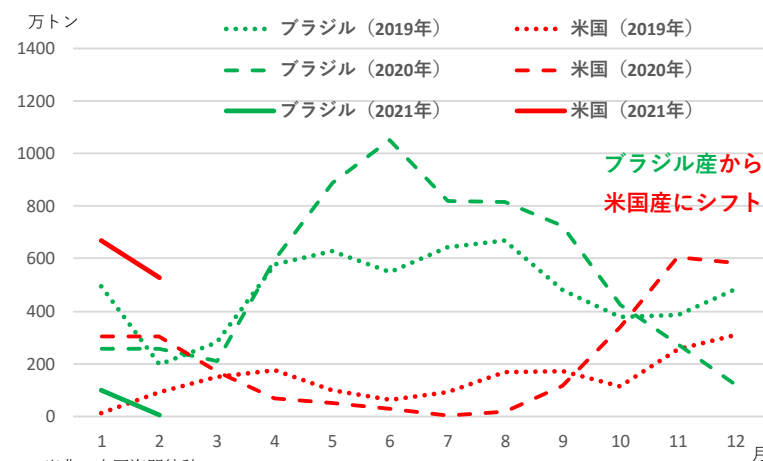
大豆－中国

(単位: 百万トン)

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21			
			予測値、0はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	16.0	18.1	19.6 (18.1)	-	8.3	
消費量	102.0	109.2	114.7 (…)	▲ 2.0	5.0	
うち搾油用	85.0	91.5	96.0 (…)	▲ 2.0	4.9	
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (…)	-	11.1	
輸 入 量	82.5	98.5	100.0 (…)	-	1.5	
期末在庫量	19.5	26.8	31.6 (…)	2.0	17.9	
期末在庫率	19.1%	24.5%	27.5% (…)	2.2	3.0	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	8.41	9.30	9.87 (9.45)	-	6.1	
単収(t/ha)	1.90	1.95	1.99 (1.92)	-	2.1	

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(9 April 2021)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(12 March 2021)

図：中国におけるブラジル・米国産大豆の輸入状況



出典：中国海関統計

注：2020年1月分と2月分は合計で公表されたため、便宜上1/2で按分

< カナダ >

【生育・生産状況】USDAによれば、2020/21年度の生産量は、前月予測からの変更はなく、収穫面積は前年度より減少したものの、生育期の天候に恵まれ、単収は前年度より上昇したことから前年度より3.3%増の6.4百万トンの見込み。前年9月から10月にかけての温暖で乾燥した天候により、前年度より早く収穫が開始され、前年11月中旬時点で、ほぼ終了した。

なお、カナダ農務農産食品省（AAFC）（2021.4.20）によれば、これから作付けされる2021/22年度の実産量は、カナダ西部では土壌水分不足の懸念や菜種等の競合作物も価格が魅力的なことから作付面積の増加は抑えられるものの、高い大豆価格に支えられ、主産地のカナダ東部を中心に作付面積が増加し、前年度より3.8%増の6.6百万トンの見込み。

【需給状況】USDAによれば、2020/21年度の消費量は、前月予測からの変更はなく、前年度より18.8%増の2.9百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによれば、2020/21年度の輸出量は、前月予測からの変更はなく、前年度より7.5%増の4.2百万トンの見込み。

カナダ穀物委員会（Canadian Grain Commission）によれば、2020/21年度（2020年8月～2021年7月）の2020年8月～2021年2月の輸出量は339.0万トンで、国別では、イラン（70.5万トン）、イタリア（38.6万トン）、アルジェリア（35.6万トン）の順。

大豆－カナダ

（単位：百万トン）

年 度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生 産 量	7.4	6.1	6.4 (6.4)	－	3.3
消 費 量	3.3	2.5	2.9 (2.5)	－	18.8
うち搾油用	2.1	1.7	2.0 (1.9)	－	14.8
輸 出 量	5.3	3.9	4.2 (4.4)	－	7.5
輸 入 量	1.2	0.3	0.4 (0.4)	－	33.1
期末在庫量	0.7	0.7	0.3 (0.5)	－	▲ 61.9
期末在庫率	8.2%	11.3%	3.8% (7.3%)	－	▲ 7.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.54	2.27	2.04 (2.04)	－	▲ 10.1
単収(t/ha)	2.92	2.71	3.11 (3.12)	－	14.8

資料：USDA「PS&D」

「World Agricultural Production」(9 April 2021)

AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(20 April 2021)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2020/21年度)

	小麦	とうもろこし	コメ	大豆
米国	20年6月～21年5月	20年9月～21年8月	20年8月～21年7月	20年9月～21年8月
カナダ	20年8月～21年7月			20年8月～21年7月
豪州	20年10月～21年9月		21年3月～22年2月	
EU	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		
中国	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月
ロシア	20年7月～21年6月	20年10月～21年9月		20年9月～21年8月
ブラジル		21年3月～22年2月	21年4月～22年3月	20年10月～21年9月
アルゼンチン	20年12月～21年11月	21年3月～22年2月		20年10月～21年9月
タイ			21年1月～12月	
インド	20年4月～21年3月		20年10月～21年9月	
ベトナム			21年1月～12月	

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2020/21年度は、米国の小麦では2020年6月～2021年5月、ブラジルのとうもろこしでは2021年3月～2022年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads> (「Reference Data」タブを参照)

【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が 2021 年 4 月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下のとおりです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構

なお、生産見通し等の予測は、各国国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

英国については、2020年1月31日付けでEUを離脱しました。英国の小麦に関する情報についてはEUの小麦のコーナーで取り扱います。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL：03-6744-2368（直通）
------------	---